

入善町 議会だより

6月定例議会

№. 66号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



完成間近い入善小学校

2学期から新校舎で勉強できます

一般会計予算 4億2,100万円を追加

- ▶ 土地開発基金を設置して公共用地を先行取得
- ▶ 園家山にバンガローを建設
- ▶ 道路改良には7,000万円を追加

★消費税抜本の見直しの意見書を政府に提出

町長 3選出馬を表明



水キラキラ 町いきいき 入善

6月定例議会

6月14日～6月23日

ふるさと創生に六千万円 土地の先行取得に基金を設置

六月定例会は、十四日から二十三日までの会期で開催され、提出された議案十件、請願三件、議員提出議案一件などについて審議され、いずれも原案どおり可決、採択されました。

水中ポンプを取替え

※簡易水道特別会計補正予算
新上野住宅と雇用促進住宅の水源地の水中ポンプが老朽したため、二百万円で購入工事を行う。

町民税の非課税拡大

※条例の一部改正
地方税法の改正に伴って、町民税均等割非課税基準の引き上げ、寄付金控除の新設、非課税限度額の引き上げ、みなし法人の特例延長などの改正を行った。

公共用地を 先行取得

※土地開発基金条例の制定
町の活性化のための企業誘致や中央通り線の改良など、公共事業を行う際に一番問題になる用地の取得を円滑に行うため、一億五千万円の土地開発基金を設置する。

芦崎に副離岸堤

※入善漁港海岸保全工事契約
芦崎地先に二十五型ブロックを使用し、副離岸堤を設置する。
契約金額 二千四百二十九万九千円
契約の相手方 株式会社飯作組

限度額を四十二万円に

※国保税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を現行の四十万円から四十二万円に引き上げる。また低所得者減額世帯の判定標準額の引き上げと、被保険者均等割及び世帯別平等割額の減額割合の引き上げを行った。

選挙長等の報酬引き上げ

※議員定数条例の一部改正
二百二十四人の定数の中で部門ごとの定数区分の調整を行った。
保育所四名減、一般職一名増

財調基金に 九千五百万円

※63年度一般会計補正予算
地方交付税の増額分二億四千五百万円、町民税の増収二千六百万円、中央通り線代替地に充てる町有地の売却三千八百万円などを財源として、財調基金から繰入予定二億九千万円を取り止めし、財政調整基金積立金に九千五百万円、土地改良事業の補助金を当該年度に支払うための負担金三千九百万円など八千八百二十九万九千円の増額補正を行い、歳入歳出総額を六十八億六千二百一十二万二千円とした。

採択された請願

- ・ 町道藤原春日線の拡幅改良に関する請願 (採択)
- ・ 有機米に関する請願 (採択)
- ・ 農業研究グループの育成援助に関する請願 (採択)
- ・ 議員提出議案
- ・ 平成元年度産米の政府買入価格並びに米教政策確立に関する意見書 (可決)

- ※平成元年度一般会計補正予算
四億二千一百一十七万円を増額補正し、一般会計予算の総額を七十三億二千六百五十一万七千円とした。
- ★主な使いみち
- ・ 土地開発基金積立金 一億五千万円
- ・ 道路改良舗装 七千九十万円
- ・ 消防団員死亡賠償金 三千九百万円
- ・ 入善小学校屋外環境整備 二千八百七十万円
- ・ 中央通り線用地購入費 三千万円
- ・ ふるさと創生事業
- ・ シンボルタワー設置、園家山キヤンプ場整備、舟見リゾート線整備、河川敷整備計画、入善米の日設置など、六千万円
- ※元年度老保特別会計補正予算
医療給付金が確定したため、支払基金や国、県、町からの交付金を精算返納するために二千五百八十六万四千円を増額した。

町政について

一般質問

5 議員登壇

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 1番 | 竹内 | 壮太 | 議員 |
| 2番 | 白又 | 正学 | 議員 |
| 3番 | 佐藤 | 学郁 | 議員 |
| 4番 | 九本 | 里多 | 議員 |
| 5番 | | 幸男 | 議員 |

(番号は登壇順です)

綿密な計画が必要

フォー市との姉妹都市提携

竹内壮太議員(清新)

問

米国フォーレスト・グループ市との姉妹都市調印式に、各界の代表三十五名の一員として参加し、日本人の海外進出のめざましさと交通網の発達で世界が狭くなったことを肌身感じて帰ってきた。

今回の姉妹都市提携について、町民の中に疑問や批判を持っている方もおられる。多額のお金をかけても、すぐにも効果が出るものでなく、ちょっとでも誤れば税金のむだづかいになりかねない。

文化、経済、青少年、技術、平和の交流など、長期的友好を深めるためには、綿密な計画が必要である。

長期展望に立った考えを聞きたい。

青少年の

交流に期待

町長

国際交流とは、地域の文化と外国の文化との交流、ふれあいにあるかと思う。

行政だけの交流で終ることなく



▲青少年の交流に大きな期待
中学の英会話クラブ(入善中学校)

内標識の標示など、国際化に努めていきたい。

三選出馬の表明を

問

姉妹都市提携を始めとして、町活性化のための中央通り線改良事業や学校建設、二千年国体に向けての総合体育館建設、工場誘致など、諸施策が山積しており、これらの諸問題の解決のため、引き続き町長三選に出馬する意志があるのか。

リクルート問題、消費税問題による政情不安の中、三万町民の衆望をになつて、きちんとした所信を伺いたい。

再度チャレンジしたい

町長

二期八年、町民のみなさんの理解を得て町政を担当し、おおむね順調に推移していると理解している。

これからの町の課題として、二十一世紀へつなぐ、かけ橋としての総合計画の策定や中央通り線などの都市計画事業、総合体育館などのスポーツ施設や小中学校の整備、次代を担う子どもたちの教育など、解決しなければならぬ諸問題が残されており、町民のみなさんの協力が得られれば、引き続き町政の担当にチャレンジしたいと思っている。

土曜閉庁は

時代の流れ

問

入善町を除く県下全市町村が第二・第四土曜日の閉庁についての条例を制定したと報道されている。各市町では、それぞれ行政サービス低下を招かないよう対策を立てていると報じられているが、入善町が条例化しないことで、近隣市町の足並みが崩れて困るという声も聞いている。

二年以内に週二時間の時間短縮は将来は週休二日に進むのの一つの時代の流れとなっているが、町長は条例提出の意思がないのか。

町民の理解が必要

町長

国や県の機関と違って、行政の末端機関である町村では、土曜開庁の取り組みに慎重を期すべきだと考えている。

土曜開庁を条例化したのは全国で五百六十団体、十七・一徑であり、富山県は普及率が高いが、全体としては、まだまだの段階にある。

公式試合のできる

総合体育館建設を

白又正司議員(自民)

問

総合体育館の建設計画について面積、規模などの検討をされていると思うが、どのようになっているか。また、トレーニング場や屋内プール、宿泊施設等の併設についての考えを聞きたい。

せっかく建設するのだから、公式試合ができ、記録が公認されるような立派な体育館の建設を強く要望する。

平成三年に着工

町長

平成二年度で入善小学校が完成するので、三年度で着手し、四年

労働時間の短縮という点では四週六休制も同じであり、民間企業の日曜二日制が普及すれば、土曜日に役場に来られる方も増えるのが実態で、行政サービスを低下させずに土曜開庁できるかどうかが一番の問題である。

平成元年度は様子を見る期間とし、平成二年度で町民のみなさんの理解を得ながら、全国的なコンセンサスの形成を背景に対応した方がよいと考えている。

度で完成させたい。

まずメインとなる総合体育館を建設し、その後、町の財政計画を考慮しながら、研修、宿泊、温水プールなどを順次考えていきたい。町民のための施設であるので、スポーツ関係のみなさんの意見を充分聞きながら対応したい。

維持管理に民間の活力を

問

国体誘致や体育館建設のための検討委員会を設置する考えがあるか。また、維持管理の問題について、民間活力の活用や体育協会の

法人化を考えているか。町や地域の発展を願ってボランティアとして活躍している青年団の活性化のために、体育館利用の面で優遇できないか。

管理運営は体協に

町長

現在スポーツ振興課やスポーツ振興審議会で検討してもらっており、新しい組織が必要かどうかという点も含めて検討したい。

どのような運営するかは、まだ将来の問題であるが、現時点では町が直接管理するよりも、体育協会を法人化して管理してもらう方がよいと考えている。

そのために、町も出資し、民間や企業にも協力してもらって基金をつくり、その運用益を管理予算に充てたらどうかと思っている。

駐車場が少ない

問

体育館建設に向けて、用地買収の計画と今後の見通しはどうか。運動公園は駐車場が少なく、大きな大会がある時は道路上にギョッシリ車が詰まっている。分散型駐車場の考えはないか。

汚水処理等の周辺環境整備にどのような配慮をしているか。

周辺で買収したい

スポーツ振興課長

現在、運動公園の北側に一万一千平方メートルを購入する予定で交渉を



▲早く本格的な体育館がほしい(入善西中学校体育館)

進めているが、この面積ではまだ不足なので、周辺での取得計画を立てたい。

大きな大会があると駐車場が不足するので、山側など、周辺で土地が取得できれば駐車場に充てたいと思っている。

汚水対策の問題は総合体育館の建設計画時点で検討する。

宿泊施設は

欠かせない

問

国際化の時代を迎え、海外からやってくる小中学生や若者たちと宿泊し、ひざを交えながら、スポーツを通じての国際交流を深める

時代が目前にきている。

新しい総合体育館には、宿泊施設や研修施設は絶対欠くことのできないものだと思うが、町長はどう考えているか。

三選の時点で考慮

町長

昔から、人と人とのつながりを深めるには、一つカマのメンと一緒に食べるとか、一緒に寝起きをすることが一番大切なことではないかと思っています。

私も三選というハードルをクリアした時点で、この問題にも対応していきたい。

返還運動に全力を

北方四島は日本固有の領土

佐藤学英議員 (自民)

二月七日は北方領土の日となっているが、町はどのようなPR、施策を考えているか。せめて立看板ぐらい設置できないか。

未解決の大きな課題

町長

戦後四十数年経過した現在、なお未解決の大きな政治課題であり、日本国民の悲願だと考えている。本町出身の方も多く、県内の各自治体とも一丸となって返還運動を進めている。

国民の返還の願いは正しい理解の上に築かれるという考えから、昨年二月の広報で北方領土の特集を行い、正しい理解と協力を得られるよう努力している。

記念すべき日には適当な行事も行って、町民にアピールしたい。

コンブやカニ漁で生計

総務課長

終戦時、北方四島に移住していった入善町の人々は九十八世帯、四百七十八名と推察している。

千島寒流と対島暖流が交錯する好漁場で、コンブやサケ、マス、カニ漁で生計を維持し、ハマナスや千島桜が一面に咲く楽園であったと聞いている。

四島の返還交渉は両国政府間で絶え間なく行われており、衆参両院でも数回にわたって返還の決議がなされている。入善町でも、昭和四十七年と五

十二年に議会で早期復帰の決議がなされており、今後も今までの以上の運動を続けるべきだと思う。

国体種目の誘致を

町長

県では二千年国体準備委員会を設置して、二十一世紀を迎えるにふさわしい富山国体を県民総参加で開催する方針を決めており、県内各市町村でも競技種目の誘致に活発な動きを見せている。

入善町ではスポーツ振興課を中心に検討するということが、今日までどのような検討をされたか。また、スポーツ振興審議会では何を検討されたか。

精力的に種目選定

町長

誘致のための組織をつくること自体は難しくないが、せっかく組織をつくっても組織ばかり多くて機能しないということではどうかと思う。

現在のスポーツ振興審議会や体育関係のみならず、担当課などで真剣に取り組んでいるので、新たな組織をつくることも含めて検討させたい。

スポーツ振興課長
二千年国体に向けてスポーツ振

興審議会から町へ建議がなされており、それに基づいて総合体育館の建設準備、国体種目誘致の準備委員会の組織化に取り組んできた。平成二年中に市町村や競技団体の開催希望調査が行われるので、他市町村に遅れをとらないように宿泊能力、交通の便、大会運営能力も考慮しながら、町民の関心の高い種目、町で実施可能な種目に重点を置いて、精力的に内部積み上げをしている。

渋滞する東町踏切

町長

県道入善朝日線のJR東町踏切は、下り列車の進入時には三分から三分三十秒も遮断機が下りており、朝夕のラッシュ時などは両側五十肩ほど車渋滞になる。

また、道路幅が六・二メートルしかない、しかも踏切と斜めに交差しているため、大型車のすりかえが難しく、ますます渋滞する原因になっている。

JRも民間に移行したのを機会に親しまれるJRをめざして駅舎の改修や設備の改良に取り組んでおり、良いチャンスだと思うので、この踏切の抜本的な改修のために勇気を出して、がんばってほしい。

困難な問題が多い

建設課長

この踏切は幅六・二メートル、主要



交通通学の時間滞は50分も渋滞 (東町踏切)

問
北方領土には、終戦まで三千六百世帯、一万七千三百八十五人の島民が居住していたと聞いており、私たちの祖が血と汗で開拓し、受け継いできた日本固有の領土であることは明白である。
近海は寒流と暖流がぶつかる魚の宝庫として知られており、入善町からも、たくさんの方が出漁されている。
日ソ漁業協定によって本年の漁獲高は一千五百トン、協力が三十億五千万円という厳しい環境の中で、危険にさらされながら操業されている現状を見ると、北方領土返還の重要性が痛感されるが、町長はどう考えているか。

県道としては極めて狭いが、これを広げるには、どこかの踏切を廃止するのが条件と聞いている。

県道入善朝日線の拡幅は、中町線改良の際に踏切まで整備する予定だったが、地権者の了解を得られなかったという経緯がある。

多くの困難な問題があるが、新たな解決策を見出す努力をしながら、JRや県などの関係機関に理解してもらえよう積極的に働きかけていきたい。

県知事は県民党

問

町長は午前中の質問に答えて、二選出馬の意向を明らかにされた。富山県の中沖知事は、県政執行の基本姿勢について、政治信条は自由民主党、政治姿勢は県民党だと言っておられる。

二選出馬に臨んで、町長の政治信条は何か。そして政治姿勢は何で進められるのか。

政党に属さない

町長

首長は特別な政党政派に所属すべきでないという立場であり、あえて言えば町民党という立場である。顔に汗して働く町民が、入善町に住んでいて良かったと思われようかな町をつくるのが一番基本でないかと理解しており、町民参加、ガラス張りの清潔公正な行政が町政執行の基本的な考えである。

消費税廃止を

町民の願いに応えて

九里郁子議員 (共産)

問 生活を圧迫し、不公平を拡大する税制改革には、圧倒的な町民が反対している。町民の意向を尊重し、消費税廃止を求める考えはないか。

数の原理に不快感

町長

国民の中に、消費税の問題について不満が噴出しているのではないかと。これは、あくまで国会の問題であるが、納税者の一人としては増税はない方が望ましいと思う。

しかし、直間比率の問題、減税の問題も絡んでくるので、消費税

だけの問題として考えるのはどうかと思う。

ただ、国民に対する約束に反して、数で押し切られたということに、非常に不快に思っている。

市民への発砲に怒り

問

民主化を求める中国の学生市民らのデモに対し、政府指導部が六月四日未明、天安門広場に戦車を含む、重装備の戒厳部隊を突入させ、非武装の学生、市民に発砲し死傷者を出すという事態を引き起こしたことに、怒りをこめて断固糾弾する。

このことに対して町長の見解を聞きたい。

あつてはならないこと

町長

人民に銃を向けるという、あつてはならないことが行われており、胸を痛めている。

社会主義に対しての正しい理解を得るためには大きな損失であり、本質がどこにあるのかを深く考察するべきだと思ふ。

緑を破壊する

棚山ゴルフ場

問

棚山ゴルフ場は現在どのような状態になっているか。緑の破壊、農薬汚染などの問題点とともに自然との

環境保全を監視

町長

自然環境を保全することは極めて大切なことだと思っている。しかし、自然をそのまま手入れせず昔のままにしておくことが自然を守ることになるのかどうか。自然と開発との整合性の問題が大きな課題である。

開発行為については、自然環境を守るように、農業、殺虫剤やその他については法律を厳守するよう運営について十分監視したい。

企画財政課長

地権者の八十以上の同意が得られたので、開発行為届出書、環境保全対策書が県へ提出され、県から了承通知書が送付されている。

通知書には十四項目の留意事項が付けられており、朝日町と協定書の内容について協議している。

調整池は、入善町の舟川側に一か所、朝日町の山合川側に三か所設けられる。四か所合わせて洪水調節量五万八千トンとなっており建設費の基準容量よりも、余裕を持った設計になっていると聞いている。

生活環境の整備を

問

生活様式の変化、産業活動の活発化などにより、生活雑排水や水

洗トイレなどの汚水が川や海を汚染する要因になっている。

特に市街地の生活排水を処理する都市下水路の整備を望む住民の願いは切実である。

中央通り線の工事などの具体化に合わせて下水道の計画が、今必要なのではないか。

下水道は総合計画で

町長

市街地の側溝整備については、今回の補正でも予算を計上しており、実態を十分把握しながら対応していきたい。

下水道計画は、快適な生活をすすめるためには欠かせないものだが、時間と経費が必要である。

完成した道路をまた掘り起こすということのないように、中央通り線の整備も考慮し、将来にわたっての計画を立てながら、対処していきたい。

合併処理浄化槽を普及

環境保健課長

生活雑排水による汚染が進んでいるのが実態であり、これを少しでも緩和するために、今年から、し尿と生活雑排水を合わせて処理する合併処理浄化槽の設置に対して補助をする制度を始めた。

今後この補助事業の普及と合わせて、各家庭の台所から出るゴミに対する、ちよつとした心づかいなどのビジュアル、クリン入善七・一五八作戦などでモラルの向上も図っていきたい。

水の確保が課題

建設課長

市街地の側溝整備には毎年努力しており、今回の補正でも三百万円計上している。側溝の機能を発揮させるために

偏差値教育に一考を

過剰な期待が登校拒否を

本多幸男議員（清新ク）

教育長

入善町における非行の実態と傾向を踏まえ、原因の究明と防止策をどのように講じているか。

登校拒否は全国で二万八千人から三万人、高山県千三百人から千五百人とも言われており、そのほとんどが両親の不和など、家庭環境に原因があると言われている。また、学歴偏重の社会的風潮から子供に対する過剰な期待に問題があるのではないか。

入試制度の改善を含めて、教育関係者の切実な悩みや勇気を振り起こし、地域に開かれた学校づくりを県下に先がけて実施されることを強く要望する。

幼児期の教師は両親

子供は毎日家族とのふれあいの中で親の言葉、身振り、考え方から大きな影響を受けて成長していくので、教育委員会では、乳幼児

は安定した水が必要となるが、入善町は農業用水に依存しているため、農閑期の水の確保、適正な配分が課題である。

特に市街地は平坦で勾配がとれないという問題点もあり、少ない水を上手に配分するために水門の開閉など、住民のみならずの協力をお願いしたい。

万引、校内暴力、いじめや登校拒否など社会環境の悪化は憂慮すべき状態である。

この背景には、家庭養育機能の変化、価値観の混乱、社会規範意識の欠如、人間関係の希薄化などが指摘されている。

人間が心身ともに健やかに成長するためには、発達段階における基本的欲求が満たされていることが大切であり、家庭での乳幼児期の育て方や親の過保護、過干渉、放任などが非行の原因となっている。

学校長推薦で職員採用を

問

学歴偏重からくる偏差値教育は学校間格差を助長、固定化する働きも行っている。エリートコースと落ちこぼれコースに差別、選別する日本の社会現象や入試制度をみても、社会に順応できる人間尊重の教育に改革すべきであると思

採用する側の判断も必要

町長

職員の採用に当たって、入善高校の農業科の生徒に夢や自信を与える意味で、学校長推薦で採用するというのはユニークな提案である。

学校長の推薦に異議はないが、無条件というのともうかと思う。採用する側にも一つの判断が必要であり、試験制度の方が良いと思

重要な初任者研修

教育長

初任者研修制度は教員としての使命感を養い、学習指導や生活指導などに関する実践的指導力や幅広い識見を身につける上で重要である。

採用後、一年間の研修を行うもので、校内では指導教員による指導助言研修、校外では教育センター等での研修や宿泊研修、一部の者であるが、文部省の行う洋上研修もある。

町では対象教員が二校で三名配置され、指導教員が二名増配置されており、学校運営上は特に問題はない。

最高責任者が汚職

問

取締で逮捕された文部省の最高責任者、高石前文部事務次官の汚職構造をどのように受けとめているか。

また、教育職員免許法の格差がついたことに対して、どのように受けとめているか。

高石前次官が最高責任者になって作られた新学習指導要領に対して、どのような見解で臨むか。

全国の子供に

謝ってほしい

教育委員長

前文部事務次官という教育官僚の最高責任者が、汚職問題を起こしたことについては、全国の子供の前で謝っていただきたいと思う。

公務員としての職務遂行について疑惑を受け、世論から指弾されることは遺憾なことである。こうした不祥事を厳粛に受け止め、私も含めて町内職員並びに教育公務員たる教師に、十分このことから学ぶことを指導していきたい。

教員免許法の改正は、審議会の案では専修免許、一種免許、二種免許になるようである。

今日の社会情勢が非常に複雑化、高度化しており、教育に当たる者の資質向上が要求されていることの現われでないかと思う。

個性を生かす教育

教育長

文部省が示した新学習指導要領によると、個性を生かす教育の推進と道徳教育の充実を重点にしている。

小学校の低学年では理科、社会を廃止し、生活科を設ける。中学校は三年生を中心に選択履修幅の拡大、入学式での国旗掲揚、国歌斉唱の義務化が主な改定内容である。

二十一世紀を展望し、社会の変化に主体的に対応できる心豊かな人間の育成を図る教育を推進する上で、適切な改善であると認識している。

常任委員会 審査報告



良い意味での両輪に

議員も学ぶことが必要
審査付託された五議案のうち、平成元年度一般会計補正予算及び国民健康保険税条例の一部改正については賛成多数、その他の議案三件は全員一致で可決すべきものと決した。

一般会計の補正額は四億二千一百一十六千円で、この財源として、ふるさと創生交付金や国県支出金、財政調整基金からの繰入金、繰越

金などが充てられている。歳出では、ふるさと創生事業の一環として、英語版を含む町勢要覧の発行やキャブテンシシステムの導入などが評価されていたが、新総合計画策定の業務委託に関連して、過去の総合計画では、議会の意向が十分に反映されていないと指摘されていた。

議会図書室が整備されたのを機会に図書購入費十万円が計上されている。

新しい時代、めまぐるしく変化する社会に対応するために、議員も大いに学ぶ必要がある。当局と議会が良い意味での両輪となり、町活性化の引き金になれば幸いである。

独断専行に注意

土地開発基金条例

職員定数条例の一部改正は、定数三三四人の総枠内で、各部門間の事務の見直しに伴う調整であり特に意見はない。

土地開発基金条例の制定については、道路改良などの公共事業実施にあたって、現在最も大きな問題となっている用地取得を円滑に行うためのものであるが、とかくこの種のものは、独断専行になる恐れがあるので、拡大解釈がされないように、議会にきちんと報告するように、全議員から意見が出されていた。

損害賠償請求にかかる和解については、命と代えられるものではないが、一定の補償がされたとい

う点で担当者の努力にも敬意を表したい。

引上げもやむなし

限度額を四十二万円に

国民健康保険税条例の一部改正については、県下の五市で四十万円に据え置きされており、ペナルティの一千万円よりも限度額の四十二万円を支払う住民の苦しさを思いやる方に、ウエイトを置くべきだという意見が出されていた。

高齢化社会が進展し、入善町でも全国平均、県平均をはるかに上回っており、長寿社会を喜ぶべきかもしれないが、医療費の増大は憂慮すべき問題である。

限度額の引上げで財源を補充するのはのびがたいことであるが地方税法の改正に基づくものであり、国保運営協議会が再度に亘って協議された意見を尊重し、原案を可決すべきものと決した。



側溝・排水に配慮を

入善小の環境整備

文教厚生常任委員会に審査付託された議案五件は、全案件とも全員一致で可決すべきものと決定した。

一般会計補正予算では、入善小学校の屋外環境整備事業費二千八百七十万円に話題が集中した。この事業は、校舎の西側に花のトンネルや築山、アスレチック遊具のある運動広場を、東側にステージやテラス、噴水などのある集会広場を作るといふものである。花に囲まれた、うるおいのある環境で、子供達と先生方のふれあいの場としても、すばらしいものになると期待される。

これに関連して、周囲の側溝、排水整備をどうするのか。

周囲をとりまく河川は、従来から大雨のたびに下流の方で氾濫し浸水さわぎを起している。周辺のみなさんの意見を十分に尊重され、また、工事設計者とも綿密な検討をされて、後で問題が起らないように十分な配慮を要望する。

風紀問題を懸念

國家山のバンガロー建設

ふるさと創生事業の一環としてのウォークベイスポール普及は、せつかく入善町が考案した種目であるので、今後ともビーアールと指導に努められ、発展させていたきたい。また、國家山キャンプ場整備事業としてバンガローを建設することは、野外ステージの建設と共に、國家山のイメージアップや利用促進に効果があるものと期待をしている。

ただ、今後の運営管理の問題、風紀上の問題が懸念されるので、

一般に、今後の運営管理の問題、風紀上の問題が懸念されるので、

議 会 日 誌

10日	フォーレスト・グループ市姉妹都市提携調印式 (アメリカ)
16日	サケ・マス船団出港 (魚津市)
13日	サケ・マス船団出港 (魚津市)
19日	三町議長会研修視察 (山形県)
21日	町有林視察 (山形県)
23日	京都府網野町総務委員会視察 来町
26日	町民ふれあい号 (山形県)
27日	町民ふれあい号 (山形県)
28日	新川広域圏運営協議会 (黒部市)
29日	新川広域圏運営協議会 (黒部市)
30日	議員全員協議会 (運動公園)
30日	町村制施行百周年記念植樹 (運動公園)
2日	県町村議長会臨時総会 (富山市)
8日	議会運営委員会 (富山市)
14日	議員全員協議会 (富山市)
14日	第25回議会定例会 (提案理由説明)
14日	議会運営委員会 (提案理由説明)
15日	優良納税貯蓄組合表彰式
15日	議会定例会 (一般質問・質疑・委員会付託)

この点について充分な配慮を要望する。

舟見中学校は、生徒数の減少によって六学級から五学級に学級減となり、そのために教師も二名減となるところを、特別に一名配置してもらっている。

補正予算では教育効果の面から、もう一名を町単独で採用するものである。舟見中学校は今後も五学級で推移するので、教師不足の問題を含め、組合立中学校のあり方を真剣に検討する時期でないかという意見が出されていた。

在宅福祉元年

心のこもった施策を

在宅わたり高齢者等福祉金制度の創設は、当を得た措置である。平均寿命が世界でトップクラスとなり、二千二十五年には七十五歳以上の高齢者が現在の三倍の一千七百万人になると推計されている。

このため厚生省は、平成元年を在宅福祉元年として実のあるものにするため、在宅老人デイサービス、短期保護事業の大幅充実を平成元年度に盛り込んでいる。この在宅サービスをを行うのは市町村の仕事であり、総力を結集して知恵をしばり、心のこもった施策を展開されるよう期待している。

老人保健医療特別会計補正予算は、前年度の医療給付金が確定したことによって精算返納するもので、問題はない。ただ、医療費が高くなれば町の持ち出しも多くなり、保険税の引上げにもつながる。



▲高齢者福祉が求められています
40床増設される舟見寿楽苑



産業建設委員会
副委員長 本多 幸男

早期着工に全力を

中央通り線の改良

一般会計の補正額のうち、当委員付託部分は一億五千九百六十二万二千円、補正予算全体の三十七・九億となっている。

この中味で、一番先に目につくのは道路改良舗装事業費の七千九百九十四万円で、各議員から出されていた要望に応えたものであり、高く評価される。箇所づけに当たっ

てくるので、今まで以上に早期発見、早期治療のピーアールに努力するよう指摘されていた。

人が集まるまちづくり

入善米の日に全校給食

ふるさと創生事業の一環としてイメージアップ推進費千八百万円が計上されている。

今までは、観光資源がないという先入観にとられ過ぎていたようであるが、最近では、町もC1事業、イメージアップ事業に目を向けられるようになってきており、

この姿勢をさらに発展させて、人が集まってくる活気のあるまちづくりに努力していただきたい。コシヒカリの消費拡大のために「入善米の日」を設置して、学校給食で全校生徒がおいしいコシヒカリを食べるといのは、非常によいアイデアであった。

事業委託が急増

中味の検討を充分に

平成元年度の当初予算では、ゴミ収集や電算などの委託料は別として、舟見山公園整備設計委託料二百四十万円のような、計画、設計測量などの委託料が約五千五百万円計上されている。今回の補正でも三件で九百五十万円が計上されており、業務委託が非常に多くなっている。もちろん事業は大いにやってほしいし、早期発注、早期完成のために委託も必要である。また、専門家でなければできないものもあるが、公園整備計画のようなものは、地元の人達の意見を含めた、手づくりでやるという意気込みがほしい。

また、業務委託をする際に、町としての考え方、意向を十分に伝えてあるかどうか。業者まかせにしてはいないかという点も心配をされていた。最近では、測量委託がふえてきており、業者から出てきた見積りをおのまます算計上していないか。中味を充分に検討し、念慮するよう強く指摘されていた。

19日	総務常任委員会
20日	文教厚生常任委員会
21日	産業建設常任委員会
23日	議会定例会 (各委員長報告、討論、採決)
27日	三常任委員会合同視察研修 (北海道)
30日	
4日	沖繩県中城村行政視察来町
5日	参議員議員選挙公示
6日	新川広域圏議会
7日	正副常任委員長研修会
10日	新川広域圏議員体育大会 (黒部市)
11日	県地方議員連絡協議会臨時総会 (魚津市)
14日	富山県町村議長会総会
17日	岐阜県輪の内町議会来町
23日	参議院議員選挙投票日
24日	新川広域圏議会
26日	新川広域圏行政視察
28日	
31日	郡議長会臨時総会
2日	富山県消防操法大会 (富山市)
3日	戦没者追悼法要
7日	議会だより編集委員会
7日	議会運営委員会
8日	第26回臨時議会
9日	決算特別委員会
10日	決算特別委員会
11日	北陸自動車道等富山県建設促進協議会 (富山市)

6月 27日～30日

常任委員会 行政視察報告



▲ノサップ岬から見るオホーツクの海 (天気良ければ、このように見える……)

北の島々が涙ぐんでる

北方領土返還に願いをかけて

根室市

産業建設委員長 白又正司

産建委員会担当の根室市へは、六月二十七日朝、新潟空港から千歳、中標津(なかしべつ)経由の予定が、悪天候のため千歳空港より汽車に変更となり、根室到着は夜八時過ぎとなった。

根室漁協のみなさんのご好意による夕食会には、芦崎出身の方々が多く駆けつけられて、熱烈いや熱涙の歓迎ともてなしを受け、アツという間に時間がたつたような思いであった。

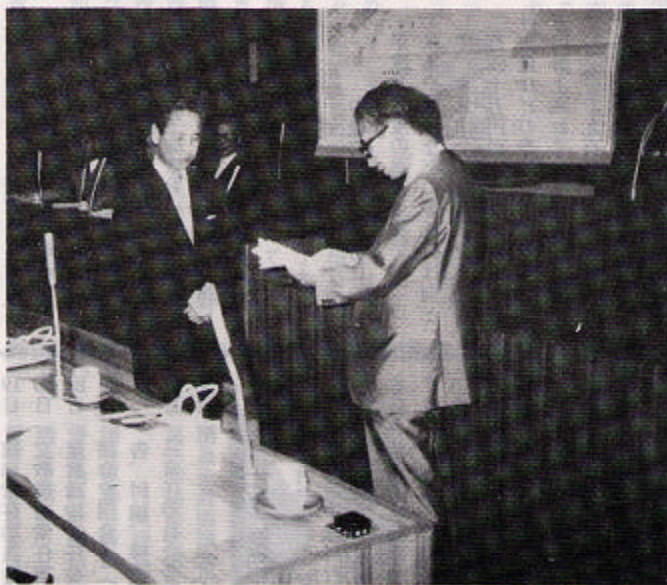
二十八日早朝、花咲港を訪れ、漁協の方々と共にいただいた朝食は、どんぶり飯に、すりかまのみそ汁、北洋紅鮭の焼物や筋子、いかの塩辛など、その珍味は今なお口の中に残っている。

係留された漁船に
胸引きしまる思い

花咲港に寒々と今なお係留されている漁船十数隻を見るにつけ、去る五月十三日経田漁港から出航する北洋サケマス船団を、遠く船影の見えなくなるまで、安全航海、

安全操業の悲願を込めて、手を振っておられる見送りの方々の姿に強く胸を打たれたことが思い浮かんできた。

入善の漁船は無事操業を終えて



▲町長のメッセージを宝田助役が代読

根室市議会議場で

数日前に帰国されたことを聞かされ、安堵の思いと同時に、ソ連監視艇にだ捕され、期限付罰則として係留されている漁船の姿に、農業者もさることながら漁業者の刑務所を垣間見たような気がして、胸引きしまる悲哀を感じた。

歯舞も根室地域

根室市役所では、大矢市長から北方領土を取り巻く諸情勢は依然として厳しいものがあるとの話を聞いた。

根室の開拓は、北方領土の開拓と共に元禄年間に始まり、松前、仙台両藩、東京府の所轄となった。

明治十五年に根室県が置かれ、十九年二十二年に当時の和田村へ四百四十人の屯田兵が土着し、入善町からも多くの入植者が入植した。

大正十年には国鉄根室本線が完成。かん詰めなどの水産製品が外国へ輸出されるようになり、人口も二万八千人に達した。昭和二十年の戦災と北方領土のソ連による占領という苦しい状況の中から、三十二年に根室町と合併、市となり、三十四年に歯舞村を根室市に編入させ、領有権のあることを明示している。

納沙布岬で返還祈る

議場にて、北方領土返還の悲願を込めた入善町長のメッセージを宝田助役が麻蘭のうちに代読し、市長に手渡した後、見たことのない歯舞、国後、色丹、択捉の四島に思いを馳せながら、日本最東端の納沙布岬へ向かった。

納沙布岬では、濃霧のため全然視界がきかなかつたが、全員で北方領土に向かって、一日も早い返還の悲願を祈った。どん底に落とされた地域住民の苦しみを思うとき、高山県に生まれ、入善町は良いなあと内心ひそかに感じていた。北の島々が涙ぐんでる。

励ましてほしい、勇気づけてほしい、見守ってほしい
 還えるその日まで!!
 地上九十日に位置する円型展望室より

地域ぐるみでふるさと創生 雨竜町
 農業のビジョンづくり

総務委員長 広瀬義孝

六月二十九日、雨竜町役場では町長、議長、役場職員のみならずの出迎えを受けた。

まず最初に、視察目的である「ふるさと創生事業」の取り組みについて説明を受けた。雨竜町では、事業の周知とアイデアを町広報二月号を通じて募集したところ、個人及び団体からアイデアは三十九件、同事業では八十九件の応募があったという。

八千万円は基金積立て

町では、このアイデアに基づいて「我が町農業の将来像を地域ぐるみで」の考えを推進するため、ふるさと創生一億円のうち二千万円を町づくり地域農業ビジョンづくりに振り向けることとし、残りの八千万円はふるさと創生事業基金へ積立てることにしている。そして、ここから生ずる運用益を国際交流を始めとする各種研修事業

に使うことを決定したそうである。この交流研修事業は三年程度実施し、この間に、今回寄せられたアイデアを基に、町の地域活性化につながる事業をさらに総合的に検討し、効果のある「ふるさと創生事業」を決定したいとのことであった。



▶雨竜町役場でふるさと創生についての説明を受ける

入善から
 二十五世帯が移住

明治、大正時代にかけて入善町から雨竜町へ移住開拓された方々の状況についてお話を聞いた。当時、雨竜町に移住された方々は、富山県から二百六十世帯、入善町からは二十五世帯の人たちであったが、現在は新屋、小摺戸、上原、野中出身の七戸の方が農業に従事しておられるそうである。入植された当時は北海道移住の人たちに対して手厚い保護がなされ、小屋掛料、農具八種、主食の玄米等が支給されたそうである。私たちの地区からも親不知の難所を通り、直江津港から五百メートル程度の船で渡られたそうであるが、想像以上の厳寒に大変苦労されたようである。

明治二十年前後の不況と相まって、農村の分解が進み、脱藩農民が非常に多く、一方は都市へ、そして一方は田畑、土地の良い地方へと分散した歴史があるそうである。一方、魚津、滑川方面の漁師の人たちは北海道の留萌、羽幌方面に多くの人が移住されたそうである。

現在は当町新屋地区等との獅子舞の交流も行われており、二、三年前には雨竜町の獅子舞の方々が来町しておられ、入善町からも訪問されていると聞き及んでいる。末永く交流なされんことを望み、視察記としたい。

もせうし 妹背牛町

一町一家・和の心

獅子舞いを通して交流

文教厚生副委員長 五十里 隆 章

妹背牛町、我が町とは獅子舞いを通じて交流の深い町であり、また、全町民の半数が北陸から移住した人々の子孫だと言われる町、他人事とは思えない親しきを持って訪れた。あいにく雨模様で視界が悪く、遠望がきかなかつたが、バスの車窓からは我が入善と似た水田風景が一面に広がっていた。明治二十六年開基され、「一町一家和の心」を基調とした町政が行われている。

下新川の

出身者と交流会

われわれ一行は妹背牛町老人福祉センターを訪れ、町長はじめ、町の有志の方々の歓迎を受け、交流を行った。出席された人たちのほとんどが、下新川の出身のようであり、そのうち四、五名が入善出身者らしい。二代、三代目がほとんどであり、はつきりしないらしい。話題が獅子舞のことや、出身地のこと、入善の家のこと、仏教のこと等、獅子舞のルーツを探して入善を訪れたことのある人が



▲入善出身の滝本ひろさんは12歳で北海道へ

数名おられ、時のたつのも忘れるほどであった。

昔を懐かしむ

今回、特に滝本ひろさん(八十六歳)にお会いできたことが印象的であった。

東五十里の五十里善作さん宅に生まれ、飯野蛇沢の滝本家の養女となり、十二歳まで入善に在住、その後、両親と北海道に渡って妹背牛で開拓農業に従事されている。五十里善作さんに事前にお願していたので、当日息子さん夫婦(土建業専務)、ひ孫と甥の滝本さん(雨竜町議、建設業社長)にお会いできた。

ひろさんの記憶は確かで、年代の違う私は時々戸惑うこともあった。同郷の子供のころ遊んだ人たちの名前、家号がボンボンと出て昔のことが思い返された。特に五十里の浜や黒部川で泳いだこと、本多家の竹やぶ等、懐かしそうであ

あった。ぜひ入善へと米町をうながしたが、杖も必要となり、少し腰も曲がり、耳もちよつと不自由なやうに「行きたかれど行かれんね」ということであつた。

われわれにとって身近な話題が多く、去り難い思い出であつたが、みんなで撮影をし、近い将来、姉妹町となるべきであると思いが、帰町した。

第26回臨時議会

五十里 企業体が落札
中山 西部保育所の改築

第二十六回入善町議会臨時議会は八月八日に開催され、工事請負契約二件について原案どおり可決し、昭和六十二年度決算認定については、特別委員会を設置し、九月議会定例会までの継続審査としました。

また、消費税の抜本的見直しについて議員提案がなされ、賛成多数で政府に対して意見書を提出することにしました。

- ・契約者 五十里・中山共同 企業体
- ・工期 平成二年一月末
- 國家山野外ステーション建設工事
- ・契約金額 六千五百二十七万一千百円
- ・契約者 飯作組
- ・工期 十二月二十八日

※決算特別委員会のメンバー

- 佐藤 学英 池原金与志
- 白又 正司 上野 幸一
- 大林 政雄

消費税

抜本的見直しに関する意見書

消費税を最大の争点とした今回の参議院議員選挙の結果、参議院での与野党逆転が実現し、野党共同提案による消費税廃止法案の提出が取りざたされている。

消費税は、税制改革の一環として、所得税、法人税の超大型減税とあわせ導入されたもので、高齢化時代にふさわしい福祉国家を築くためには不可欠なものである。

しかし、現行の消費税に対する国民のきびしい審判を直視し、国民の理解と協力が得られる、抜本的な見直し措置を強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

平成元年8月8日

富山県入善町議会

草の根交流で友好親善

姉妹都市使節団

参加レポート

姉妹都市提携が実現して

文教厚生委員長 板川 清治

このたび、入善町とフォーレストグループ市との姉妹都市提携が実現し、柚木町長（団長）、石川議長（副団長）をはじめ、議会、区長会、農協、商工会、婦人会、行政、学校、ライオンズ、ロータリー、地区労などの代表が姉妹都市調印使節団（三十五名）としてアメリカ・オレゴン州フォーレストグループ市（F・G市）を訪問し、友好親善を深めてきましたので概要をご報告致します。

五月十日（晴）

成田空港から ポートランドへ

午前八時三十分、入善駅集合、出発式、午前九時三十分、入善駅（北越三号）出発、十二時三十分、上野駅に着きバスで成田空港へ向う。成田空港（日本航空、十七時四十五分発）からロサンゼルス国際空港へ（十六時間の時差があるため現地では五月十日、午前十一時十分）到着、成田空港より十時間十五分かかった。

ロサンゼルス空港よりアラスカ航空にてポートランド空港（約二時間）に到着。空港ではクラーク氏（フォーレストグループ市長）をはじめ関係者の出迎えをうけ、バスでエンバシースイートホテル（十七時三十分）に到着。入善駅を出発して約二十四時間経過して目的地に着いた。

五月十一日（晴）

NECCプラント

町長、議長、副議長らは州知事や日本領事館を表敬訪問。他の一行はコロンビア渓谷、ポートランド市街の視察、オレゴン州（ヒルズポロ市）にあるNECCアメリカの見学などが今日の日程である。コロンビア渓谷では特にワーキイナの滝やマルトノーマの滝が絶



▲盟約書に署名するキップ・クジャラ議長と石川議長

景の一つである。

ポートランド市街の視察はユニークな公共施設や民間の建物の紹介である。又、日本では見られない光景の一つとして、引越しをする人が不用になった家具や台所用品、本、衣類などを自宅の庭（ヤードセール）や車庫（ガレージセール）で安く売っている様子はアメリカ特有な姿であろうか。

オレゴン州（ヒルズポロ市）にあるNECCアメリカ（通信部門）の工場敷地は約二十五万坪余りで

ユーモアと感動の 調印セレモニー

五月十二日（晴）

従業員は約五百名（日本人が約三十名）。労働者の採用は労働意欲の旺盛な人なら人種や性別、年齢にこだわらず雇用する（同一労働同一賃金制）ので従業員の男女比率や年齢構成が分らない（知る必要がない）。従って、従業員の出身国も様々である。

経営に当たっては日本の良い所と米国の良い所を探り入れながら最大限努力していると川上工場長から紹介された。

今日の日程は、①F・G高校にて歓迎会、②記念植樹、③F・G市内及び附近の見学、④友好姉妹都市盟約書の調印式である。

①歓迎会では黒いガウン（中には和服姿の女生生も数人いる）を着た二十人位の日本語クラブの学生が「さくら、さくら」、「春が来た」を聴かせてくれたので感激した。

②入善町の町木「こぶし」がますます大きく育つよう、同様に両市町の友好が永く続くように祈願し、小公園で記念植樹が行われた。

③市内の見学は主に公共施設（学校、老人ホーム、水道局、警察消防署など）や主な農産物の冷凍工場や大型製材工場である。

④調印式の会場はテクトロニクス社（富山日本電気の交流会社）



ナガミネ農園のカーネーション栽培

の社員食堂であった。先着のF・G市のみならずはワインを片手に談笑している。私達も戸惑いながら郷に入れば郷に従えで真似ること約一時間(懇談会?)、誰からもなく着席し、ウエートレスがコーヒーやワイン、焼肉、野菜などをサーブスしてくれ、どの顔もほんのり赤ら顔となる。

約一時間半経過(晩さん会?)して、ようやく、司会者が調印式が始まることを告げた。①両市町長のあいさつ、②両市町長や両議長による盟約書の署名、③記念品交換、④友好提携に対する功労者紹介などが行われる。

セレモニーは感動、ユーモア、感激の一夜であった(午後九時十分)。

団員は任務を果たし肩の荷が下

りた表情でバスに乗り込みホテルに着く(午後十時過ぎ)。

五月十三日(晴)

日本人が多い

サンフランシスコ

三泊したポートランドからサンフランシスコへ移動する。車窓から見る樹木は日本とよく似ており(白樺、カエデ、ポプラ、カラ松、ユーカラ、シダなど)、建物は平家建てが多い。

三十分でポートランド空港に着き、ユナイテッド航空でサンフランシスコ空港に到着(約一時間二十分)

サンフランシスコの街は、①世界で二番目に観光客が多い、②一時間八百台の車が通るので四車線

が一方通行の道路がある。③同性愛者が多い(男性の三分の一が同性愛)、④銀行は土曜日営業するようになった。⑤日本人居住者が非常に多いので日本料理店、寿司屋、カラオケバー、うどん屋、土産品店などが沢山ある。

四国と本州を結ぶ吊橋と同じようなゴールデンゲート(長さが二・七キロメートル)は五十二年前に造られたといい、日本人観光客が多いので日本ではないかと錯覚する。

五月十四日(晴)

カーネーションの花咲く

日系農園を視察

日程、①アメリカンスタイルのショッピングセンター、②ワイン工場、③教育施設(U.C.バークレー校など)、④ナガミネ、フクトメ農園(日系人経営)などの視察である。

ナガミネ農園主は、戦後、満州から郷里(鹿児島県指宿市)に引き揚げ、その後、昭和三十三年に裸一貫でカリフォルニアに渡り、約七年間の日雇労働をし資金づくり、四十歳で同農園(約二町歩)を築いた。

ナガミネ農園はすべて手造りの温室(木造)で、カーネーション、バラ、アストロメリアスを栽培している。

労務者は約十五名(メキシコ系、他に日本人研修生二人がいる。隣りのフクトメ農園(約一・八

町歩)も手造りの温室でカーネーションだけを栽培している。両農園の奥さん同志が姉妹であり、非常に協力体制がうまくいつている様子である。

五月十五日(晴)

午前一時半に

無事帰町

日本へ帰る日となり、ホテルよりバスで約三十分でサンフランシスコ空港に着き、日航機(午後一時五分発)で成田空港へ向う。

成田空港へは五月十六日、午後三時五十分に着、五月十七日、午前一時二十二分後場に全員無事到着した。

近年、海外の都市と姉妹都市の縁組を結ぶ市町村が急激に増え、本年四月現在で四十二か国と六百二十市町村に達していると言われている。(入善町は六百二十一番目の仲間入り)

友好提携の最大意義は、お互いに安心して相手国を訪ね、相互の文化、経済、教育、産業などの交流を図り、信頼を深め、住民生活の向上や福祉の増進に役立つ道をつくることであろう。今後、この道を末永く多くの住民が通り易い道「草の根交流」になるように、みんなで努力し合うことが成功への鍵であろうと思う。

最後に滞米中は富山日本電気横江氏をはじめ交換研修社員のみなさんに大変お世話になったことに対して深く感謝申し上げます。

編集後記

七月十日、黒部市宮野山体育館で、新川広域圏議会議員体育大会が開催され、梅雨の一日をビーチバレーボールで汗を流しました。

入善町議会からは三チームが出場しましたが、二チームは一回戦で敗れ、残る一チームはビーチバレー発祥の地、朝日町議会チームに二対二で惜しくも敗れ、決勝に終わりました。

七月二十三日は参議院議員選挙の投票日、入善町では八十二・三八%という高い投票率で、町民のみならずの関心の高さがかがわれました。

私たちが洗礼を受ける町議会議員選挙は、十月十日告示、十五日投票で、町長選と同時に行われることに決まりました。あと二か月の任期を精一杯がんばりたいと思っております。なお一層のご指導、ごべんたつをお願いいたします。

暑さ厳しい折、健康に留意され、良いお盆をお迎えください。

議会だより編集委員

石川 昭男 白又 正司
池原金与志 本田 幸光
広瀬 義孝 佐藤 学英
板川 清治 九里 郁子

七月十日、黒部市宮野山体育館で、新川広域圏議会議員体育大会が開催され、梅雨の一日をビーチバレーボールで汗を流しました。

入善町議会からは三チームが出場しましたが、二チームは一回戦で敗れ、残る一チームはビーチバレー発祥の地、朝日町議会チームに二対二で惜しくも敗れ、決勝に終わりました。

七月二十三日は参議院議員選挙の投票日、入善町では八十二・三八%という高い投票率で、町民のみならずの関心の高さがかがわれました。

私たちが洗礼を受ける町議会議員選挙は、十月十日告示、十五日投票で、町長選と同時に行われることに決まりました。あと二か月の任期を精一杯がんばりたいと思っております。なお一層のご指導、ごべんたつをお願いいたします。

暑さ厳しい折、健康に留意され、良いお盆をお迎えください。

議会だより編集委員

石川 昭男 白又 正司
池原金与志 本田 幸光
広瀬 義孝 佐藤 学英
板川 清治 九里 郁子